



地区広報

おやまだ

第 13 号

平成 5 年 3 月 10 日



「中学生になったら自分でお弁当を作ってみましょう」平成 5 年 1 月 9 日(第 2 土曜日) 小山田小学校母親部主催

“お弁当作り講習会” に参加して

小山田小学校六年 平尾 圭子

学校から料理教室の申し込みをもらって、見てみると「お弁当作り」と書いてありました。

もうすぐ中学生になるので毎日のお弁当で、何か役に立つ事があればと思って参加しました。

作るのが苦手な私ですが、先生に聞いて教えてもらっているとなんとかうまくいきました。

その中での「鶏肉のコンチーズ焼き」はフライパンを使った料理なので、少し油がとんでこわかったけれど上手に作れてよかったです。その上にコーンをのせたりして、できあがり。

私にとって苦手なコーンだったけれど、とても食べやすかったです。

もう一つめずらしい「キャベツの梅和え」は、キャベツを切った中に細かくした梅干しをあえた料理で食べた事がなかったから、なんだかおもしろい味がしました。

他にも料理はあったけれど、この二品が一番よかったです。

つめ合わせも先生と同じようにつめて、色あいも上手になっていました。

不断、あまり手伝う事がないので少しこわかった所もあったけれど全部がおいしく、簡単に作れそうでよかったと思っています。

中学校へ行ったら、お母さんに作ってもらえばかりでなく、自分でも、作ってみたいと思います。

平成4年9月から学校週5日制スタート

毎月第2土曜日に実施

子どもたちにとって大切なことは何でしょう！

学校週5日制について

内山町 矢田 哲

子供達にゆとりを持たせて勉強、勉強で明け暮れずに(五日間、バッチリやって、土日は先生共々好きな事を自由にやって、又、次週に頑張つて学ぶ)、建て前は非常にきれいだけど、受験戦争たけなわの現在、学校の休みの日は塾へ行つて、学校以上のハードな勉強をするのでは、週休二日の「^{かまよ}鼎の軽重」を問われるのではないか。

あれば、週5日制の意義を何と解釈すべきか！
現実には私立校は実施されないとすると、公立との格差が生じる恐れがあります。

良く学び、良く遊ぶのが一番良いけれど、ついに行けない子供達を商業主義に燃える資本群が、ゲーム機を並べて持ちかまえています。

よその子が休んでいる間に少しでも……の気持ちで現状では

しかし、私達が自分の人生を振り返って考える時、勉強はできる時におけば良かったなあ、技術は若い時にしっかりと覚えておけば良かったの一語につきます。

そしてその積み重ねが大人になってからの実生活に、又、自分の一生にどんなに大きくプラスになるか！社会の平和



自然とのふれあいを大切に

山田町 北倉 康敬

小学校一年生の娘を持つ父親です。
学校週5日制がさまざまな議論の末、月一回のシステムとして導入されました。

私自身は平日の帰宅が殆ど9時以降で、子供とのスキンシップはたまの日曜日だけでした。

この機会に、月一回の土曜日を貴重な一日とするべく、家族とできるだけ郊外へ出かけて、遊ぶようにしました。

又、その時は図鑑を持参して、花や木の名前を子供と一緒に調べたりして、自然に触れる機会を持っています。現在、地球環境の破壊が取



安定に役立つか、計り知れないものがあります。

お金のかかる時代で稼がねばならぬ現社会ではあります。が、十五、六年の間であり、子供も少ない時代だから、しっかりと子供の個性を考え、本当に意義ある五日制にして欲しいと思います。

それぞれの特性をのばして技能に勉学に本人は勿論、子育てを機械や塾にまかすことなく次の時代へ譲りたいと思います。

少年時代のしっかりと生活の日々が落日を迎えたその人の一生の光となるよう、見守り、育てるのが大人の責任ではないでしょうか。

制度や理屈をどんなにいじっても、所詮、次の時代を任せられる人間を作るのは、今の大人達であることを特記しておきたいと思えます。

り沙汰されていますが、親として、この大地の育みと美しさ、尊さを教えることも、子供の将来の人間形成に大きな影響を与えるものと思っています。



社会の根本的な問題にも目をむけて

山田町 古川 通代

我が家では、九月から始まった第二土曜日の休日も、まだまだ親としては、忘れていく月が多く、定着しているとは思えません。子供達は中、高生のため、自分流に増えた休日を楽しんでいく様子です。

ある会議に出席して、この休日の実施にあたり、地域により種々の問題がある事を知りました。

当地区では、都市部で伝えられているような、塾通いも少なく、自然の中で、多人数で上手に遊んでいます。

また、二世帯同居のため、留守番のいる家庭も多く、わりと抵抗が少なく受け入れられていると思います。

これが市街地や団地は、子供同士で遊ぶ所が少なく、ゲームセンターやスーパーマーケットが遊び場になる懸念があり、地元の育成会では郊外

への体験学習などを計画していると感じました。

休日が定着するまでには、子供、家庭、各種団体などの努力が必要だと思いました。

「子供達に自由な時間と豊かな体験を」と始まったこの休日も、完全週休二日制に向けて第一ステップとして踏み出したばかりです。

でも「自由・個性・創造性」と掛け声ばかり大きくなっていく反面、子供達が置かれている現実、高学歴社会に伴い、勉強にウェイトが大きくなっていくのが現実です。

年末、年始も塾で勉強をしている子供の姿をテレビで見たり、また、五日制を実施しない私立、小、中学校への進学希望者が増えるのではないかと、この見通しを聞くとき暗い気持ちになります。

学歴、学閥が優先する社会がこのままでは、親は子供に個性や創造性よりも成績(偏差値)を上げることを第一に考えるのも、無理からんことだと思えます。

このままでは、問題の解決はあまり無いと思えます。

人間性豊かな、生活力のたくましい人間を育てるためには、もっと社会の根本的なところに向け、変革していくかなければならない大切なことがあると思えます。

孫の健やかな成長をみながら

和無田町 辻 弘子

我家も今年はお孫創太が七五三(三歳)のお宮参りです。

お宮への道、マンボ近くの竹藪からガサガサ音がします。

「ウアッお猿さんだ!」親子猿が仲良く近寄ってきます。

創太はびっくりして立ち止まり大きな目を輝かせて喜んでます。

お宮参りではご褒美を沢山頂き、とってもご機嫌です。

こうして自然の恵みや周囲の温かい人々との交わりを重ね、素直で、のびやかな、たくましい少年、青年へと成長して行く姿を想像しています。

誕生以来、お母さんがずっと絵描き続けているスケッチブックは、もう何冊になった

か。やらかな、そして温かいぬくもりが伝わってくる水彩画、とても心が和みます。

心とらげば「ありがとう」頂き物をすれば「うれしいねえ。」と感謝の気持ちをお返し、美しい花を見れば「お花きれいね。」動物に接し「かわいいね。」と優しい心を持ち、お歌が大好きな創太。私共にとつて創太との関わりは、自分自身を見詰め直す大切な出会いであり、最高の宝物です。

紙袋で作ったコックさんの帽子をかぶってレストランごっこ・シャボン玉の虹色の光を見て「なぜなの? どうして?」と不思議顔。

ビールの王冠と輪ゴムで作った時計を腕につけて「お父さんと一緒だ。」とお気に入り。いろいろな手作りおもちゃで、ほんの短時間でも、子供との関わりを大切にしている姿がとっても素敵なお母さん。

仕事、家庭、子育てに懸命になっっている姿勢を目にするにつけ、人にとって幸福とは何か、子供にとって本当の幸福とは何だろうか、親として子供のために願っていることが、本当に子供のためになっ



「おばあちゃん、ワンワンかわいいね」

ているのだろうかと考えさせ

られます。

「大人になって苦労しないように」とお金をかけて家庭教師をつけたり、塾通いをいくつもさせる。

子供自身の意志におかまひなく勉強させられることが本

当に幸福なのでしょうか?

人間にとつて自分の意思を全く無視して押しつけられることは一番の苦痛ではないか。

今一度原点に帰り、物事を

見直してみる必要があると思

コミュニケーションを深める時に

山田町 矢田 節男

に考え、発生する諸問題を社会の責任として、解決していかなければと思います。

土曜休日がスタートした九月十二日は、教育制度が始まった明治以来の改革と言うこと

で、各方面からの要請もあり、地域の団体などで多彩な行事が計画されました。

急な計画のため、子ども達にゆき届かなかったのか、不振のところも多くあったと聞いています。

しかし行事に参加した子ども達からは十分に満足した声がありました。

二回、三回目となるとマスコミなども騒がず、前回の騒ぎが嘘のようでした。

社会状況の変化に伴い生まれてきた学校週五日制、子ども達にもゆとりを与え、様々な体験を通じて、望ましい人間形成を図るのが狙いです。

このため地域も家庭も一緒

子ども自身の自主性を大切に

鹿間町 本間 治子

達はとても喜んでる。

一日休んでもまだもう一日休みがあるという事で、気分的に随分違うだろう。

それでも友達同士で約束して遊んだり、家族で釣りに出かけたたり、学年活動に参加したりと結構忙しい。

そこで将来休日が増える事が確実な今、五日制にこだわ

り、継続できる行事は続けるべきではなかっただろうが、最初だけのお祭り騒ぎだったのだろうか、又以後は関係者だけに任せられたのか。

子どもにゆとりをと与えられた休日、子どもの好きなように過ごすのが一番だが、休みが増えたことで、非行などまわがった方向へ進むことも考えられ、大人として過ごし方のアドバイスを与えることも必要と考えます。

我家は二人の小学生の娘がおります。

第一回目の時は、私が夜勤から帰ると洗濯の手伝いをしていたのですが、私が食事をとる時、今日から始まった五日制のことや、夏休みに作った作品のこなどを話し合い、午前中が過ぎてしまいました。

十一月には四年生の学年活

動、親子御在所岳登山でした。

速い子もバテた子も全員頂上へ達することができ、お弁当、山上散策と楽しく一日汗を流しました。

十二月には、鈴鹿市伝統工芸館を見学し、伊勢型紙のしおりにチャレンジしました。

我家は子どもが低学年のため、親子でよく外出しますが、中学生にもなると進学問題などで、過ごし方も変わって来ると思います。

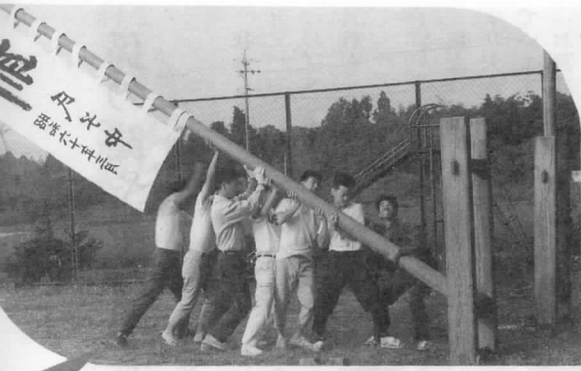
親の願いとしては、昼頃まで何もしなかったり、起きてこなかったりが無いようにしたいと思います。

それには過ごし方に戸惑っていると感じた時にはアドバイスを与え、またそれを話題に家族のコミュニケーションをより一層深めなければいけないと考えています。



伊勢型紙彫りにチャレンジ!

おやまだ レポート



のほり
夏祭りの幟立(堂ヶ山町)

7月20日、夏祭りに、神社の前に幟を立てる、青年会の若者。祭り当日の朝、6時までに集合して、年4回の祭りに幟立てをします。



いい湯だよ！内山温泉

(内山町 矢田 哲)

地元の憩いの場、内山温泉は、アルカリ性単純温泉で、神経痛、筋肉痛、慢性消化器病などに効きます。毎日(月曜日休み)夕方4時～9時まで、利用して1日の疲れを取ります。



美里町秋祭り(美里町)

今年も豊作ありがとうございました。

時代の移り変わりや生活様式の変遷から葬儀の際の非時宿にも困る現在、公会所を増築して冠婚葬祭等に大いに利用していきたいという機運が数年前より盛り上がりつつありましたので、その後建設の作業をすすめてきましたが、ようやく平成四年十二月に完成し同月十二日に竣工式をすませました。これも偏に関係各位のご協力の賜ものと感謝しております。これからは、地域発展の拠点として有効に活用していきたいと思えます。

力士「伊勢之松八左衛門」
(鹿間町 市川正徳)
鹿間町の墓地に立派な石碑が建っている。伊勢之松八左衛門と言う力士の碑である。古老の話によると、十両まで昇進したということ、相撲の巡業先でヤクザの只見を正したのが有名な話だと言う。
明治三十九年九月八日歿、内田八平建立と刻まれている。
美男力士と親の徳を偲び建納したであろう霊は墓地に静かに眠っている。
生家は鹿間町、内田空氏宅である。



ヨイショ〜！
子ども会廃品回収
(六名町)
子供会の廃品回収、坂道もなんのその、皆で力を合わせてがんばりました。

公会所増築完成

(小山町 永尾昭夫)

昭和五十四年七月に完成以来、長らく活用してきた公会所も、少しづつ手狭になってきました。





蜜蜂の分封 (山田町 矢田 清)

例年よく見かける分封ですが、こんな大型は珍しいです。

4月中頃、風の無い良く晴れた日、蜜蜂が音たてて、空を覆う如く飛びかっています。

しばらくすると、一部の軍団が周囲を伺いつつ、庭先の松の枝の下側にとまりました。

昨年と同じ場所です。

すると次々と枝が急に太くなったように重なり合ってとまり、一かたまりとなって動く気配がありません。

翌々日には又、別のもっと大きい群も飛来して、合流しました。

初めて飛来してより3泊4日の次の日、一瞬辺りが暗くなる程の超大軍が乱舞した後どこともなく飛び去りました。

女王蜂を中心とした社会生活を営む組織と団結、いかなる不況(悪循環)にも屈しない大型合併を目の当たりに見てテレビのニュースを思い浮かべました。

すっかり美しくなったゴミ収集

(和無田町 森田久人)



和無田町はゴミ収集について、頭を痛めておりました。
特に再生、埋立ゴミの扱いです。

以前の収集場所は坂道の途中でしたので、指定日以外にゴミを出したり、町外の者が出したりして、山積みでした。町内で相談して、場所を構造改善センターの前へ変更し、又、当番制で整理をするようにしたところ、以後ゴミ問題は無くなりました。

いぼがとれます 庚申さん

(堂ヶ山町 伊藤敏信)

別名いぼ地蔵と呼ばれ、今でも遠くから、願をかけに来る人もいます。いぼ取りを頼んだ時に、庚申さんを倒しておき、めでたくいぼの取れた時には、元を立て直して赤飯などを供えたりします。

又、庚申(かのえさる)の日は、年に7回有る、7庚申の年には、最後の庚申の日に鏡餅などをそなえていました。



六名通学路完成

(山田町)

県道小林、鹿間線よりの六名通学路(山田地内)が完成し、これによって複雑なカーブが無くなり、道幅も広く安心して通学できるようになり、関係住民から大変喜ばれています。



盛況の盆おどり大会

(鹿間町 萩 伸元)

鹿間町盆おどり大会は8月14、15両日盛況に行われました。平成4年度から町の活性化を目指し、盆おどり保存会が催し、自治会、組長、子供会、婦人会が準備と跡片付けをしました。
全戸へのくじ引きは約8割の人が賞品を引き替えました。
15日の仮装大会には20人が参加、盛んな拍手を受けました。
江州音頭を最後に一般の人々もおどりの輪に加わり、太鼓の音と共に夜11時までにごわいしました。



見やすくなったカーブミラー

(鹿間町 市川秀雄)

四日市交通安全協会小山田支部鹿間分会は、鹿間町内のカーブミラーの清掃をしました。
朝から二十数カ所ある汚れたミラーをピカピカにみがき事故防止に努めました。



地区大運動会

スナッブ

H4. 10. 18



声をそろえて、よいしょ、よいしょ



みんな一生懸命



小山田鼓笛隊によるアトラクション



選手宣誓



がんばれ、それ、あと一息



ゴールに向って



かがやく笑顔



こりゃ、いけるかな？



さすが慎重な手つきです



きれいなスタートでした

六名町の宝「ホラ貝」

六名町 田中 弘治郎

六名町に昔から伝わる胴回り四五センチ、長さ三五センチのホラ貝があります。

町の集会時刻、納税のお知らせ、道普請の出会いの連絡、お宮の直会などに使用いたしております。

内部川にて水害を度々受けている我が町は、大暴風雨時



工法を用いました。濁水はドンドンと増加していきます。川の中の怒濤は大きな水車となって、両岸に打ちつけその勢いで中央にハネ返して激突

するよう相をながめては、神や仏に安全の救いを祈らずにはおられません。天に向けてホラ貝を吹きま

す。プロウプロウと何時間でも、水の勢いが鎮まり、危険がなくなるまで吹鳴(祈願)を続けます。

誠心天に通じてか、さしもの激流も鎮まり、静かな川の流れとなります。この不思議な霊力には驚ろく外はありません。

こういう事は毎年ありましたが、近年河川改修工事が行われたお蔭でなくなりました。ホラ貝は町の宝物として大切に保存しております。

取り扱いは特に細心の注意をおこたりません。

山田町高齢者若者センター完成

山田町 矢田 清

山田町に集会所を……と永年地区民の念願であった、山田町高齢者若者センターが完成しました。

鉄骨平屋建て床面積約三百二十六平方メートル。大会議室、和室、放送室、図書室、調理実習室を備え、高齢者にも利用しやすいようにと一階建てになっており、玄関は障害者の車椅子用の床も考慮に入れて設計されております。

この種の施設としては、面積、施設共に四日市市内では「トップクラス」と言われています。

施設の西方では、現在山林を切り開いて土地改良事業が行われており、施設の隣には子供広場も予定されております。

この高齢者若者センターが地域発展の拠点として今後大いに利用される事でしょう。

ママさんバレー

小山田チーム 奥村 嘉子

結成して十五年になる我が小山田チームは、西陵中学校区の家庭婦人からなるチームで部員十四名、平均年齢三六歳です。

仲良しバレーを卒業した週に一度の練習は、とても厳しいですが、勝った時の喜びを夢見て、ひたすら汗を流しております。

昨年は全国大会出場をかけた県大会で惜しくも夢は破れましたが、三重県ベスト4になり、又、四日市バレーボール協会のプロックでは念願のAプロック入りを果たす事ができました。

今年の目標としては、昨年以上の成績を残す事、そして三重テレビ杯に出場して、是非とも決勝に残りたいと思っております。

精神的に弱いというチームの欠点を克服し、一丸となって、目標に向かい頑張りたいと思います。皆さん応援してくださいね。

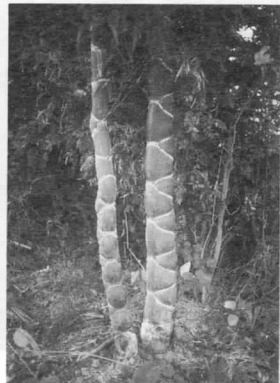


珍しい木

山田町 矢田 信夫



天台烏薬



亀甲竹

〔天台烏薬〕クスノキ科 灌木ですが、根が紡錘状に肥厚して球根になる珍しい常緑樹です。

今から約二、三〇〇年前、秦の始皇帝が家来の除福に命じ不老長寿の霊薬を求めて、日本に来て、やつと熊野市の山中でこの木を発見したが、帰国までにこの世をさった。(除福の墓はJR新宮駅前に現存している)

また、昭和五三年に鄧小平副首相が来日した時、新宮市長が上京して、天台烏薬を献上し、「ようやく除福の悲願がかなった。」と感激された。

神経痛、リュウマチ、癩、腎臓、胃腸病、疝気、脚気、淋病のほか原爆症にも、よく効くとのこと。

〔亀甲竹〕イネ科

孟宗竹に似ているが、写真のように、幹の根元、六、八節が相互に接合する珍しい竹です。テレビの連続放送「水戸黄門」で、水戸光圀に扮装する西村晃が使用している杖は、亀甲竹です。

この人尋ねと

⑧ ミニチュアカーの収集を続けて

山田町 中井 豊さん



の車が有り、見ごたえがあります。
中井さんが一番好きなのは一九五〇年代のアメリカの車だそうでキャデラック、シボレー、ビュック、マーキュリー、オルズモビルと次々と名前が出てきて、車華やかな時代の見るからに優雅で貴族の有る車達が並んでいます。

又、一台くは、エンジン部分や、車輪部分等、全て本物と同じでスペアタイヤまでついている精巧さです。
ボンネットを開けたり、ドアを開けたりしてみていると充分に本物がしのばれて時間の立つのを忘れてしまい、中井さんが次々と収集を続けていかれた気持ちがかかるような気がしました。

最初は「そんな子供みたいな事やめたら」と言っていた奥さんが今では店で見たりすると「うちにこんな色のあった？」と興味を示すようになってしまいました。
それと、会社の若い人の結婚のお祝いにミニチュアカーをケースに入れて贈ると、とても喜ばれるそうです。

子供の頃からプラモデルが好きで、いろいろ組み立てていたのが、二十五年位前にイタリア製のミニチュアカーが出回り始め、何となく気に入って一つ二つと、買い出したのが、今では二二〇種類三〇〇台以上のコレクションになったという中井さんです。
最も古いものは一九〇八年のフランスのクラシックカーから、近くは一九九〇年のイタリアのフェラーリ、マツダのRXセブンまで沢山の国

入った車をさがすという事ですので、今後も益々豊かなコレクションになる事と思います。

文芸らん

川柳

●サングラス何時もと違う
パパの顔

●還暦に目立ぬ程の若作り

鹿間町 酒井 三春

●会釈して思い出せない顔を追う

●留守詫びる花が一輪活けてある

山田町 矢田まさ子

俳句

●転がせば小石となりぬ蝸牛

●風呂で聞くこおろぎの声

●雪の朝南天揺ぐめじろかな

●年年に賀状減りゆくわびしさよ

●小山田経費老人ホーム俳句同好会

●あらたまの憂きこと忘れ

●口を開け目葉をさすお元日

●百歳に六年もあり屠蘇を酌む

●冬ひとりたまご酒にて

●あたたまる

●手袋の革のほひや今朝の冬

●神馬にも聲かけてゆく初詣

●吉岡

●志せい

●ふき

●しのだ

●麦笑

●衣紋つき八十路のまえや初鏡
遺稿 松岡

追悼

長い間当広報に寄稿していただいていた松岡婦美子さんが一月二十八日亡くなりました。心からご冥福をお祈りします。

短歌

●孫連れておもちゃ売場の前に立ち おとぎの国に

●すてにはや親の背丈を

●追いつけし孫のたのもし

●納屋の隅柿のたわわに実りいて

●小猫静かに眠りむさぼる

●笠井 春風

●酒井 三春

紹介

健康体操サークル

山田町 行方 寿々代

センターの講座、健康体操教室に参加した人達が、より健康ライフを願って、サークルを作り、毎週月曜日の夜、センターで一、二、と身体をほぐしています。
月二回は命の貯蓄体操の米川郁子先生に来て頂き、要の体操、自きよう術、組体操を呼吸法と合わせて練習する他、ダイエット法についても話が弾みます。(効果の方は?????)



地区の人口 5,917人

(平成5年1月1日現在)

町名	世帯数	人口		計
		男	女	
山田町 (内老人ホーム)	955 (474)	908 (134)	1,215 (356)	2,123 (490)
鹿間町	272	458	483	941
西山町	177	317	350	667
小山町	146	298	308	606
堂ヶ山町	110	246	256	502
和無田町	100	204	209	413
内山町	54	98	115	213
六名町	51	100	97	197
美里町	45	132	123	255
計	1,910	2,761	3,156	5,917

編集後記

平成四年度も余すところ、少なくなり、広報発行の運びとなりました。
皆様から沢山の原稿をお寄せ頂き、内容の充実を見ることができました。厚くお礼申し上げます。
今年度は学校週五日制にともない、土曜日の過ごし方、又、地域社会での受け入れなど、何度も論議されて参りましたこと、非常に大切な問題として、特集しました。
どうか次年度へ向けて、尚一層、地域文化の高揚にご協力頂きますようお願いいたします。
富田 光範